



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和4年9月12日(月)		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
産業技術総合センター	繊維・紙業部	大平 武俊 佐藤 幸泰	電話 0575-22-0147 FAX 0575-24-6976

どうがわ  
**県産業技術総合センターが三味線胴皮用和紙を開発**  
**和紙胴<sup>ひびき</sup>「響」を使用した柳川三味線演奏会開催**

県産業技術総合センター(関市)では、令和2年度に、柳川三味線に用いられる胴皮用和紙を開発しました。伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(京都市)\*が実施する「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」の一環で、当該和紙を胴に使った三味線が好評を博し、この和紙胴は「響」と名付けられたところです。

今回、この胴皮用和紙製造技術を移転した田中製紙工業株式会社(美濃市)により製品化された胴皮用和紙を使用した柳川三味線が、下記のとおり演奏会で初めて披露されます。

記

○胴皮用和紙開発のポイント

- ・和紙繊維と合成樹脂とのバランス良い配合
- ・通常和紙(35~40 g/m<sup>2</sup>)と比べて厚い2枚の和紙(68 g/m<sup>2</sup>と82 g/m<sup>2</sup>)
- ・音の響きに影響する弾性率を指標とした和紙の品質管理

○演奏会の概要

- 1 日 時 令和4年9月19日(月・祝) 13時30分~16時(開場13時)  
取材希望は伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(京都芸術センター内)までご連絡ください。※連絡先 萩原 麗子 (電子メール:hagihara@traditionalarts.net)
- 2 会 場 京都府民ホールアルティ  
 京都府京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1
- 3 名 称 『林美恵子と門下生による地歌・箏曲演奏会』
- 4 入 場 料 2,000円(税込)  
 当日窓口でお求めください。

柳川三味線は、現存する全ての三味線の元となるもので、京都でのみ伝承されています。その胴皮には昔から猫皮が多く使われてきましたが、動物愛護の高まりから新たな材料が必要となりました。京都の柳川三味線奏者と伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(京都市)より要望を受け、当センターでは、和紙原料の持つ強さを引き出す方法を試行錯誤し、胴皮用和紙の製造技術を確立、厚手の和紙製造を得意とする田中製紙工業株式会社に技術を移転し、奏者と改良を重ねています。



左：和紙胴「響」 右：従来の柳川三味線

\*伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィスとは：京都市、京都芸術センター((公財)京都市芸術文化協会)が設置する、伝統芸能文化創生プロジェクトを推進するための事務局。